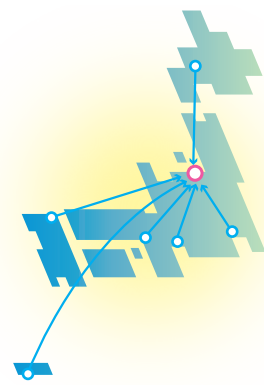
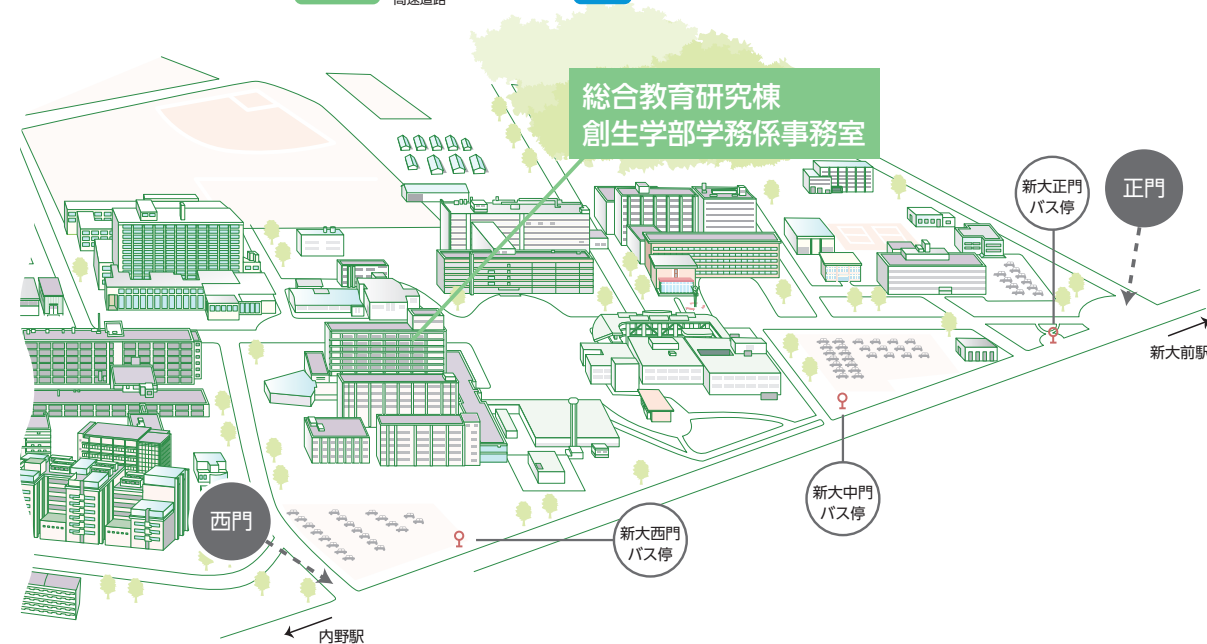
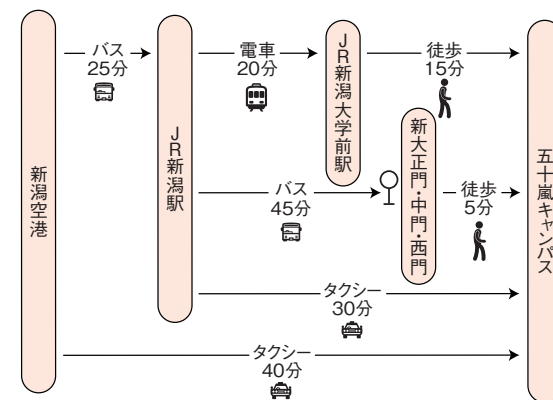


● アクセス



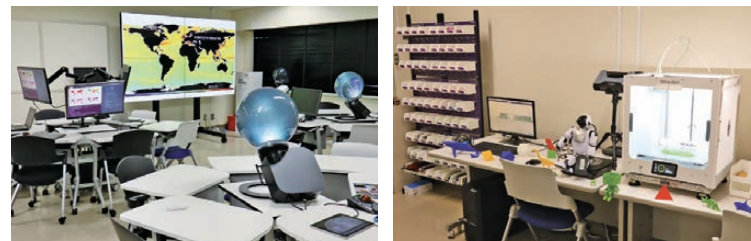
札幌	飛行機	75分
名古屋	飛行機	60分
大阪	飛行機	60分
福岡	飛行機	100分
沖縄	飛行機	145分
東京	新幹線	100分
	高速道路	4時間

新潟市



● 創生学部PBL THEATRE※(PBLシアター)

高度な課題解決型学修 (Project-Based Learning: PBL) を可能にする、さまざまなデータを可視化して客観的な議論を行うための教育設備が整っています。



※英式表記

新潟大学創生学部

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL 025(262)6998 (創生学部学務係)

学部ホームページ <https://create.niigata-u.ac.jp>

2020年4月発行



(学部ホームページQRコード)

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

学びを創り、未来を生む。

創生学部

COLLEGE OF CREATIVE STUDIES,
NIIGATA UNIVERSITY

新潟大学 | 創生学部 | 創生学修課程

2021 | 学部案内



自らの未来を
自らの意志で創りたい人
募集します。

新潟大学創生学部は、
科学技術や社会の課題発見・課題解決の学修を中心に、
学生一人ひとりが自身の目標を定め、自分に合った学びを創っていく、
日本全国でも新しい「理系文系の区別がない学部」です。

自分に合った分野科目で受験できますが、
入学後はその分野にとらわれることなく、
自分の興味と自分のキャリアを考えて目標を定め、
課題や専門領域を選んで学修できます。

創生学部での学びは、すべてあなたの意志によって創り出されていきます。

この学生中心の学びの中で
科学技術の革新や社会の変革を牽引する人材として必要な
事象・課題を多面的に見る力や
専門分野が異なる人と協働する力が確実に身につきます。

このまったく新しい学修スタイルで
自らの未来を、自らの意志で創りたい人、募集します。

求める 学生像

課題探究・解決に関心を持ち、将来のキャリアを自ら見つけることに熱意のある人

特定分野にとらわれない幅広い領域に興味関心を有し、基礎的な学力のある人

他者とのコミュニケーションを積極的に行い、自己表現ができる人

学部長あいさつ

皆さんが大学を経て、社会に出てその中核として活躍する頃には、IoTなどの科学技術もさらに進化し、それを使う社会も大きく変わっています。それに伴い、達成すべき課題や解決する必要のある問題も複雑化していきます。

そのとき、皆さんには、このようないろいろな分野が関係する複雑な課題に、多面的にアプローチできる力が必要です。それは、広い視野で問題を把握し、解決するためにさらに必要なことを学修し、他の分野の人と協働して総合的に課題を解決できる力です。

創生学部の新しい教育課程は、自分の専門性が身につくことはもとより、このような力が確実に身につくように整えられています。与えられるのではなく、自分に合った学びを自分で創っていくので、自身の目標をしっかりと意識して充実した学修ができます。

この新しい学部で自分の未来を皆さん自身で創生しませんか。様々な専門性を持った私たち教員が、協働して皆さんの学修をしっかりサポートします。



創生学部長
鳴海敬倫

入試情報

創生学部では、一般選抜（前期日程）及び総合型選抜を実施します。入試情報の詳細は、創生学部ホームページをご覧ください。

学部	課程	入学定員	募集人員			
			一般選抜	総合型選抜		
			前期日程	理系科目選択型 (概ねの募集人員)	文系科目選択型 (概ねの募集人員)	
創生学部	創生学修課程	65 人	45 人	10 人	10 人	

■ 一般選抜（前期日程） ■

区分	大学入学共通テスト利用教科・科目		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	配点合計
理系型	国数	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須	外国数	英（コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ）必須 国語総合（古文・漢文を除く）・現代文B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	共通テスト	100	(100)	(100)	200	200	150	750
	理外	物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1 〔5教科7科目〕		から1	個別学力検査	(200)			(200)		200	400
	地歴公民				計	100 (200)	(100)	(100)	200 (200)	200	350	1150
文系型	国数	国語 必須 数Ⅰ、数Ⅱ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 〔物基、化基、生基、地基から2〕又は 〔物、化、生、地学から1〕 英、独、仏、中、韓から1 世B、日B、地理Bから1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から1 〔5教科7科目もしくは8科目〕又は 〔6教科7科目もしくは8科目〕	外国数	英（コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ）必須 国語総合（古文・漢文を除く）・現代文B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B	共通テスト	200	100 (100)	(100)	100	100	150	750
	理外			から1	個別学力検査	(200)			(200)		200	400
	地歴公民				計	200 (200)	100 (100)	(100)	100 (200)	100	350	1150

■ 総合型選抜 ■

区分	大学入学共通テスト利用教科・科目		本学が実施する試験等	試験の区分	大学入学共通テスト						本学が実施する試験等			配点合計
	教科	科目名等			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	課題レポート	面接	書類審査	
理系科目選択型	外数	英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ・数A 必須	講義に関する課題レポート	共通テスト				100 (100)	(100) (100)	200				500
	数理	数Ⅱ・数B 物、化、生、地学	面接 書類審査	本学が実施する試験等							400	200 書類審査含む	○	600
		〔3教科4科目〕		計				100 (100)	(100) (100)	200	400	200	○	1100
文系科目選択型	外数	英、独、仏、中、韓から1 数Ⅰ・数A 必須	講義に関する課題レポート	共通テスト	(100)	(100) (100)	(100)	100		200				500
	国地歴公民	国語 世B、日B、地理Bから1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から1 〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕	面接 書類審査	本学が実施する試験等							400	200 書類審査含む	○	600
				計	(100)	(100) (100)	(100)	100		200	400	200	○	1100

創生学部では、幅広い領域への興味関心、論理的思考、科学的根拠に基づいた課題探究・解決に必要な基礎学力や意欲、表現力、コミュニケーション能力をはかり、またこれまでにやってきた各種活動への主体的な取り組みとの接続性を高める観点から、令和3年度入学選抜から、自己推薦で受験できる総合型選抜を導入します。

総合型選抜では、入学選抜を、本学が実施する試験等と大学入学共通テストの結果および出願書類を総合して行います。



躍動する学び

創生学部は、定められた一つの学問分野を軸に学んでいく従来の学部とは異なり、学生一人ひとりが自分で目標を設定し、課題や専門 領域を選んで学んでいく、まったく新しい教育プログラムです。

「課題発見・課題解決能力」（リテラシー）の育成を重視したカリキュラム

【4年間のカリキュラム】

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
外国語	アカデミック英語（リーディング）		基礎英語		初修外国語											
	アカデミック英語（リスニング）		アカデミック英語（ライティング）													
データ処理・分析				情報処理・データ分析	データサイエンス基礎											
初年次導入科目	創生学修入門		フィールド スタディーズ （学外学修）	リテラシー基礎 社会における種々の課題理解	リテラシー応用（2、3年の間にA～Eから選択し、8単位（4科目）以上を履修） 課題発見把握中心のPBL									リフレクションデザインⅣ 学修の総括と学位申請準備		
課題探究学習科目 （PBL）	スタディスキルズ （大学学習法）															
スキル習得 中心の科目	リフレクション デザインⅠ				データサイエンス実践（A～C）の 選択履修 または 実践英語の集中学習（P.A.C.E.）											
少人数による 課題研究	基礎ゼミⅠ・Ⅱ（1、2年生合同）				基礎ゼミⅢ、Ⅳ（1、2年生合同）				プロジェクトゼミⅠ、Ⅱ				ソリューションラボⅠ、Ⅱ（卒業研究相当）			
専門分野の学修 （6学部から提供さ れる領域学修科目 パッケージを履修）			リフレクションデザインⅡ 領域学修科目群への導入	領域概説 領域（学部）と課題の理解	領域学修科目 この間に、選択した領域学修科目パッケージから、40単位（20科目程度）以上を履修・専門領域の学修											
																リフレクションデザインⅡ 領域学修と社会的 課題との関係整理
自由選択科目	フィールドスタディーズコーディネート、 地域・国際交流A、地域・国際交流B															
	新潟大学の他学部が 提供する多様な科目															

主な授業科目（視野を広げ、現代を学ぶ科目）

「領域概説」（1年次）

本科目は、2年次に領域学修科目パッケージを選択するための導入科目です。
2年次に専門領域の学びとして、人文学部、法学部、経済科学部、理学部、工学部、農学部の主専攻プログラムが有する豊富な教育資源を活用した、22分野の領域学修科目パッケージから1つを選択し、履修します。



学生の声 多様な専門分野の先生方の現在行っている具体的な研究内容から、それらをもとに自らがそれぞれの領域学修科目パッケージで何を学べるのかを知ることができます。また、これまでふれたことのない学問分野の講義などから、新しい発見が多くあります。

「基礎ゼミ」（1～2年次）

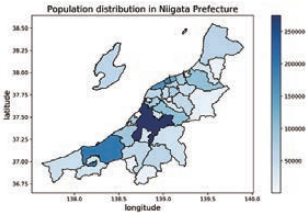
創生学部では、1年次から4年次まで少人数のゼミ形式の授業を履修します。「基礎ゼミ」は、1～2年次必修の授業で、ゼミの中で学年を縦断したグループを組み、課題把握等の演習を行います。ゼミでは、どのような課題を扱い、アプローチする方法も、自分たちで考えます。周りの人と積極的にコミュニケーションをとりながら、課題解決の流れを実践的に学んで行きます。



学生の声 専門の異なる様々な教員の指導のもと、他学年の学生と協働して学修します。担当教員によって形式は異なりますが、多くが自分たちで課題を設定し解決策を考え出すという形式であるため、大変な科目の一つです。しかし、やりきった時には大きな達成感を感じることができ、多様な視点・協働の仕方など多くのことを学ぶことができます。

「データサイエンス（基礎・実践）」（2年次）

社会課題の把握・解決策の提案のためには、客観的根拠となるデータを正しく読み解くセンスが必要です。データサイエンス基礎では、データ分析の基礎となる統計学を学びます。また、データサイエンス実践では、広く自然科学、人文・社会科学各分野での質的・量的データの活用・可視化例など、具体的な事例を通して実践的に学ぶことで、多様な観点で社会課題を捉える情報リテラシーを修得します。



学生の声 **（データサイエンス基礎）** データ分析に必須な統計学の基礎を学びます。統計学では数学を用いますが、半分ぐらいの学生は数学を苦手としています。しかし、使用するテキストは非常にわかりやすく、またわからないことがあればすぐに質問できるため、無理なく取り組むことができます。

（データサイエンス実践A） データ分析をより自由に行うために、プログラミング言語Python（パイソン）の基礎を学びます。授業は与えられた教材を各自でこなしていく形式なので、自分なりのペースで無理なく学ぶことができます。また、理解度を確認するために課題が出されますが、学生同士で教え合いながら取り組めるため、楽しみながら学ぶことができます。

「P.A.C.E. (Program for Academic and Communicative English)」（2年次）

「P.A.C.E」は、特に海外での活躍を希望する学生向けのネイティブ教員による英語の授業です。グローバル人材を育成するための新しい実践英語教育プログラムとして開設されており、少人数での授業を通して「使える英語」の獲得を目指します。英語によるプレゼンテーションスキルや論文の書き方など実践的な英語を学ぶことができます。



学生の声 クラスは少人数制で、とてもアットホームな環境で学習することができます。それぞれのクラスに応じたレベルで、先生方が優しく教えてくださって毎時間とても楽しく英語を学べます。これまでの英語学習と異なり、メールの送受信やプレゼンの方法など、実践的な内容を学ぶことができます。All Englishの授業で、基本的にクラスの人との相談なども英語ですが、ジェスチャーや容易な単語を使用するなど、英語だからと気構えることなく授業に臨むことができます。

フィールドスタディーズ

フィールドスタディーズは、1年次の第2ターム（6月～8月）に実施する、企業や自治体など、学外のフィールドに出て行き、グループで活動を行う授業です。グループごとに現場の方々のサポートを得ながら課題を発見し、学生主体の企画や提案の一連のプロセスによって、社会の課題を体感し、大学での学修意識の転換を図ります。授業は学外で行う4週程度のフィールドワークのほか、学内で行う事前・事後学修によって構成されています。

事前学修（2週間）



1週目

大学内で全体レクチャーや、フィールドの事前調査、グループの目的設定などを行います。

2週目

学外学修（4週間）



3週目

それぞれのフィールド（自治体・企業）で活動します。現場の課題の解決を目指して、グループ単位で活動を行います。

4週目



5週目

6週目

事後学修（2週間）



7週目

大学内で、フィールド（自治体・企業）での成果を発表します。

8週目

受け入れ機関一覧（2019年度）

株式会社エヌ・シー・エス／新発田市／燕市／長岡市／新潟県立自然科学館／新潟県労働金庫／新潟市／日鉄ソリューションズ株式会社／株式会社ニューメディア新潟センター／株式会社福田組／富士ゼロックス新潟株式会社／NPO法人みらいずworks／株式会社リケン（50音順）

プロジェクトゼミ・ソリューションラボ

プロジェクトゼミは3年次、ソリューションラボは4年次に履修します。2年間かけ、教員の指導のもと、自分と異なる分野を専門とする学生とも議論し、課題解決プロジェクトを遂行する、他の学部卒業研究・卒業論文に相当する授業です。一つの課題に取り組み、成果をまとめる経験を通して、課題解決に必要な企画力や実践力などを身につけます。

○学生の研究テーマ例

- 地震防災のパフォーマンスを高める情報伝達システムを構想する
- カラス被害に対する都市住民の認識
- 曲の中から特定の楽器のみを抽出する
- 男性被用者の育児休暇取得を促進する有効な方策を探る
- 機械化が進む時代の日本における労働の意義
- 新潟市のよりよいMaaSのあり方を考える
- ベトナムにおける日本語教育の課題と展望
- スマホARアプリの開発
- 観葉植物によって室内空間の印象評価は変わるのか
- ライブコマースが購買行動に及ぼす影響

堀籠ゼミ

経営とは、様々な分野の知を結集し価値へと転換して社会へと提供する営みです。堀籠ゼミではそうした価値創造活動としての経営の実践により、体得することを目指し活動に取り組んでいます。いわばゼミ活動そのものが「協働」という経営学の学びの実践として捉え、ゼミ生個人が設定したテーマに関する研究と並行して、外部のまちづくりコンテストやビジネスプランコンテストなどにも積極的にチャレンジしています。2019年度は「大学生観光まちづくりコンテスト；北陸ステージ」「十日町市ビジネスコンテスト；トオコン2019」に挑戦し、前者は『「ウチ」と『ソト』を繋ぐ北陸遺産ツアー』を提案し第7位、後者は「美人なめこ」のビジネスプランを提案し、学生アイデア部門賞（最優秀賞）を受賞しました。



熊野ゼミ

今後、AIや自動運転、ロボット技術、量子技術といった技術革新は留まるところを知らず、関連する分野・領域の裾野も益々広がって行くでしょう。社会は今まさに大変革期にあり、最新技術もすぐに陳腐化する一方、自然科学や科学技術の根底を支える数学法則や物理原理は不変であり、どんな技術もこの「不変性」あるいは「普遍性」に立脚しているのです。

当プロジェクトゼミでは、科学技術を理解・応用し、更に自ら“Something New”を創造するうえで不可欠な、社会の変化に左右されない基幹的スキルの修得を目指しています。実際に手で触れながら、データの分析やIoTガジェットの制作、プログラミング等を行い、さらに必要に応じてそれらを修得するうえで必要となる数学（主に代数学、解析学、統計学）、情報学、回路、信号処理等について学んでいます。



田中ゼミ

田中ゼミでは「学び・教育・未来」をテーマとして大きく3つのプロジェクトを中心に実施しています。1つ目は、学校教育や児童・生徒と関わるプロジェクトです。今年は新潟県内の高等学校で、私たちが作った「高校生のキャリア形成のための授業」を実施してきました。2つ目は、ゼミ生個人が設定したテーマの研究です。具体的には、「学習障がいを持つ児童・家庭への対応」「ベトナムにおける日本語教育」「電子決済時代における金融教育」などがあります。3つ目は、大学生のキャリア形成セミナーの実施です。ゼミでは毎回、学生同士の活発な議論から「未来の学び」を生み出しています。

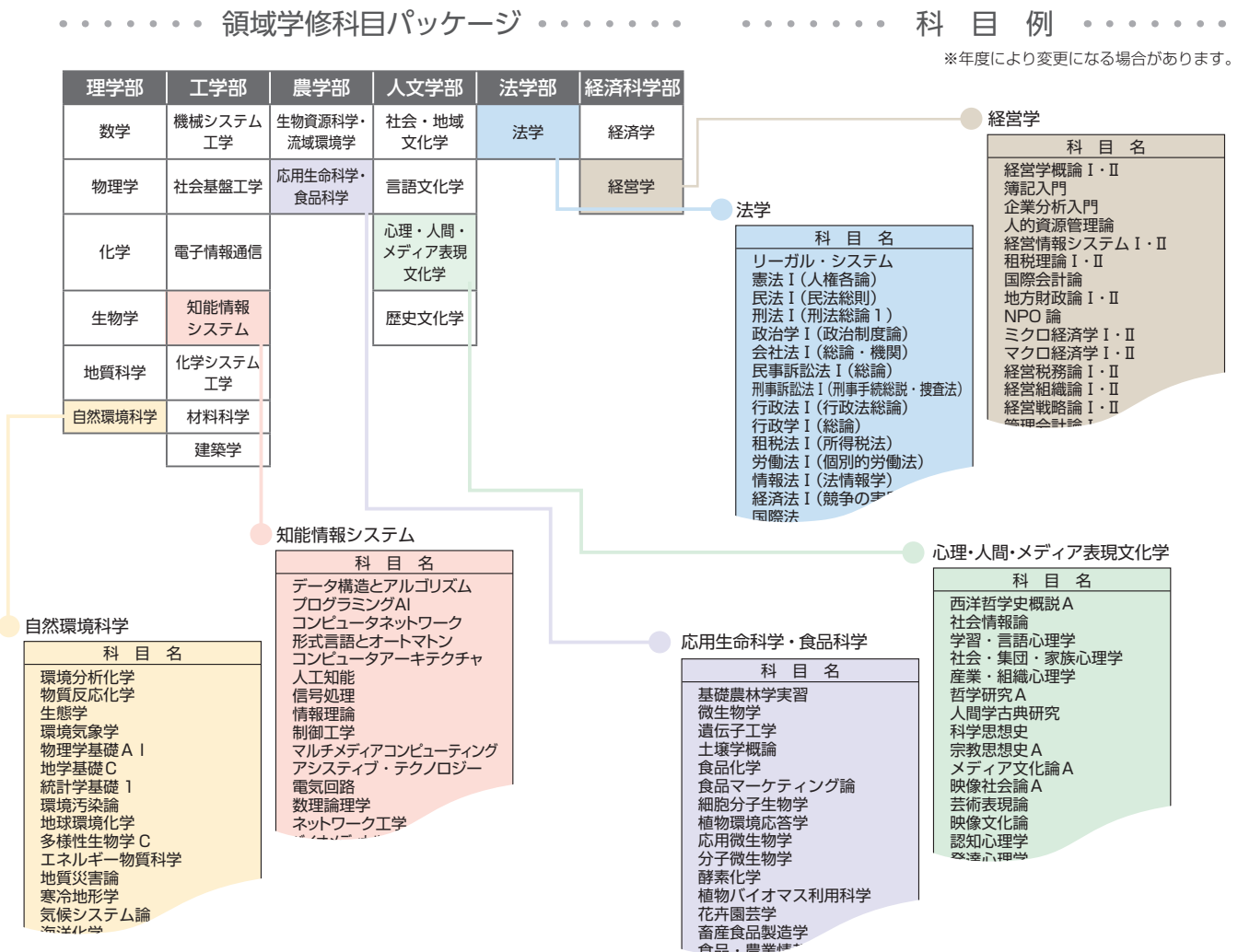


領域学修科目パッケージ

「22の領域学修科目パッケージ」から自分にあった専門分野を選択

創生学部では、学生は2年次になると、新潟大学の理・工・農・人文・法・経済科学の各学部が提供する「領域学修科目パッケージ（専門授業科目群）」の中から、自分の関心や取り組む課題に合わせて専門領域の一つを選択します。

「領域学修科目パッケージ」内の授業は、当該パッケージを提供している学部で開講されているものです。そのため、たとえば工学部のパッケージを選択した場合は、工学部の学生と一緒に専門的な内容を学修していくことになります。



未来を拓く専門性を

創生学部には、他の学部と異なり多様なバックグラウンドを持つ教員が所属しています。もちろん、創生学部での学修は、教員の専門には限定されません。新潟大学全体の資源を活用しながら、一人ひとりが創るオーダーメイド学修で幅広い専門性を身につけ、課題解決能力を修得します。

教員名	専門分野
熊野 英和	電子デバイス・量子物理・情報通信学
向山 恭一	政治学
佐藤 靖	科学技術史・科学技術政策
鳴海 敬倫	機械工学・流体工学
渡邊 洋子	成人教育学・生涯学習論・社会教育学
内田 健	社会学
小路 晋作	生態学
澤邊 潤	教育学・教育心理学
田中 一裕	教育学・教育工学
並川 努	心理学
半藤 逸樹	地球システム科学・環境情報学・未来学

教員名	専門分野
堀籠 崇	経営学
紅露 一寛	土木工学・応用力学
村松 正吾	情報学・電気電子工学
中野 優	園芸科学・遺伝育種科学
大竹 憲邦	植物栄養学・土壌肥料学
中村 隆志	情報メディア論・コミュニケーション論
藤巻 一男	公法学
丸山 健二	基礎化学・物理学
伊東 孝祐	構造生物化学・分子生物学
吉田 正之	法学（会社法）
田中 幸弘	法学（民法・金融法・消費者法）

※令和2年4月1日現在



渡邊 洋子 教授

現代日本は、先端的な技術革新、AIの発達、地球温暖化などのグローバルな動向を背景に、格差・少子高齢社会の到来、労働人口の減少、過疎化の進行など、多くの課題を抱えています。これらは社会全体の課題であると同時に、皆さん自身の将来の生活や生き方に大きな影響を与えるものです。これらの課題に広い視野と多面的視点から向き合い、共生共存し、力強く乗り越え、新たな道を拓いていける人が今後、求められます。創生学部は、そのためのあなたの学びに伴走します。皆さん一人一人がパイオニアです。



小路 晋作 准教授

一つの学術領域の知識を積み上げるだけではなく、自身の目的から逆算して学ぶべき知識を広く選択し、部分から全体を組み立てていく。創生学部のコンセプトは独創的ですが、一連のプロセスを自律的に進めることは、若者に限らず容易ではありません。その意味では、学生にとって総合力が問われ続ける学部ともいえます。創生学部では様々なプロジェクトを実践することで、目標設定、必要な知識の選択と修得、成果の自己評価などに関わる総合力をつけていきます。例えば私のゼミでは、身近な自然環境での生物相調査を通じて、研究テーマの立案から数値データの扱いまでを学んでもらいます。決まった手順はなく、失敗も少なくありませんが、学生達のチャレンジに関わることは楽しいです。「難しいからこそ面白い」創生学部で皆さんに会えることを楽しみにしています！



澤邊 潤 准教授

皆さんは「大学での学び」にどんなことを期待しますか？創生学部では、自分で自分の学びをデザインすることを大切にしています。期待を裏切るかもしれませんが、創生学部には「与えられて学ぶべきもの」は多くはありません。その代わりに、取り扱う課題、専門性の選択等、自由度の高い選択肢があり、皆さんの学修を支える教員がいます。さらに、自分の探究課題に果敢に取り組む学生（先輩）がいます。今はまだ自分が何を学びたいのか不安な人もいるかもしれませんが。創生学部では、「自分はどうなりたいのか？」「この課題探究を通じて社会はどう変わるのか？」などを問い続けます。これらの問いの先に皆さんが取組みたい課題がきっと見つかるはずです。立場や考え方が異なる学生、教員との関わりを通して、‘あなた自身’の学びを築いていきましょう。



学生の声 領域学修科目パッケージでは、他学部の学生と、専門分野について学んでいます。創生学部以外の学生と、専門的な議論を行うことが大変楽しいです。

大学院への進学

創生学部では、これからの変化の激しい時代を生き抜く人材に具わるべき高い専門性や技術を教授するのみならず、多面的な視野で社会が抱える様々な課題を把握し、その解決に向けて基盤となる、「幅の広い専門性」の主体的修得を支援しています。

領域学修科目パッケージの専門科目群を履修して課題解決の軸となる専門性を獲得し、更に卒業後に、新潟大学自然科学研究科・現代社会文化研究科や、国内外の大学院に進学して専門性を磨く、また拡げることももちろん可能です。



学生の声

創生学部での学びや目標、大学生活について



建築学領域学修科目パッケージ 4年
山形県出身
齊藤 聖菜

創生学部では、多面的な視点で物事を見る力を養いつつ、自分の学びの設計を通して自分で考える力を身に付けることができます。そして、これらの力は現在の社会できっと役に立つものだと思っています。

私は、建物の保存に興味を持っていたことから建築パッケージを選択しました。

プロジェクトゼミでは担当の先生のご指導のもと、日本の中古物件の利活用、中古物件市場の発達をテーマに研究を進めており、将来も身近な社会問題として関わっていきたいと考えています。

高校時代や入学当初は大学生活に対し不安に思うこともありましたが、創生学部には親身に対応してくださる学部内外の教員の方々がいます。そのおかげで、現在は、学部生や他学部生から日々刺激を受けながら、大学生活を楽しみ過ごせています。



心理・人間・メディア表現文化学領域
学修科目パッケージ 4年
新潟県出身
大高 敦史

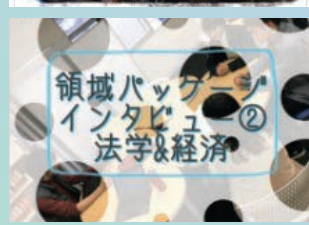
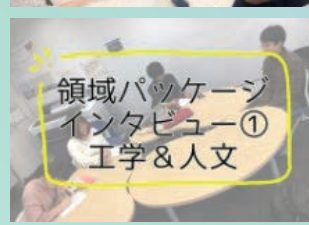
現在私が所属している並川プロジェクトゼミでは、これまでの2年間の学修を通して興味・関心を持ったテーマについて研究をしています。私は集団というものが持つ攻撃性や排他性というものに関心があり、社会心理学的アプローチから意識調査をしていこうと考えています。プロジェクトゼミでは、「心理学」や「アンケート調査方法・結果分析」といったものがキーワードとしてありますが、所属しているメンバーのテーマは幅広く、それぞれが発表していく中で他のメンバーの研究のブラッシュアップにも力を入れながら自分自身の研究にも生かすという形をとっています。まだわからないことも多く担当の先生からたくさんの指摘やアドバイスをいただくことが多いですが、少しずつ成長を感じています。

創生学部学生ブログ

創生学部の公式学生ブログでは、学生ブログ委員会メンバーが中心となって、創生学部の授業や学生生活などを、写真やインタビューなどで紹介しています。



創生学部ホームページ
「学生ブログ」QRコード



学生の一日



化学システム工学領域学修科目パッケージ
新潟県出身
小澤 友紀

2年生 前期(第1ターム)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	リテラシー 応用A	高分子化学 概論	数学 基礎A1	データ サイエンス基礎	高分子化学 概論
2	リテラシー 応用A		外国語 ベーシック1-9a (フランス語)	データ サイエンス基礎	
3		粉体工学			粉体工学
4					発展英語
5					基礎ゼミⅢ



1日の流れ

8:30 ● **1限**

12:00 ● **お昼休み**

第一学生食堂で友人とランチ！

12:55 ● **3限・粉体工学**

様々な装置の設計を行ううえで必要な分野である、粉体の性質やその移動現象について学びます。

14:40 ● **4限・発展英語**

Gコード科目(自由選択科目)で、心理学系の学術論文を学びます。

16:25 ● **5限・基礎ゼミ**

創生学部の1年生と2年生が必修となっているゼミで、4人グループで1つのテーマについて研究を行います。

19:00 ● **サークル活動**

ダンスサークルに所属し、仲間と楽しく活動しています。



法学領域学修科目パッケージ
新潟県出身
鈴木 悠希

2年生 前期(第2ターム)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	リテラシー 応用B				
2	リテラシー 応用B	簿記入門	外国語 ベーシック1-12b (中国語)	入門ミクロ 経済学	
3		民法V (債権総論2) (債権管理法)		憲法Ⅲ (憲法総論・ 人権総論)	
4	民法V (債権総論2) (債権管理法)		憲法Ⅲ (憲法総論・ 人権総論)		
5	入門マクロ 経済学				基礎ゼミⅢ



1日の流れ

9:00 ● **学部の学修室で自習**

空いている時間を利用して、資格試験のための勉強をします。将来に直結する資格試験で、難関ですが、一生懸命打ち込みます。

10:15 ● **2限**

11:45 ● **お昼休み**

12:55 ● **3限・憲法Ⅲ(憲法総論・人権総論)**

憲法の考え方や基本的なルールについて学びます。日本国憲法を幅広く学ぶことができ、人権の規定から統治機構の規定までを一度に学べるのはお得に感じます。

17:00 ● **課外活動**

新潟大学の学生向け広報誌で編集長を担当しています。学生生活を送るうえで知っておきたいことや、普段なら聞けない先輩たちの話などを伝えられるよう、企画・取材・撮影・編集を行っています。



Q&A

Q 創生学部では何を学び、どんな力が身につきますか？

A 創生学部では、一つの学問分野にとらわれず、学生が自ら定めた目標に従って主体的に学びます。変革が激しく、前例が通用しない時代を生き抜くためには、学問の枠はもちろん、文理の枠をも超えて多様な分野に通じ、どんな環境変化にも怯まず、活きた知と柔軟な論理的思考を武器に社会の課題に立ち向かえる、真の力が必要です。創生学部では、基軸となる専門性に加え、こうしたこれからの社会を生きるうえで欠かせない能力を、データサイエンス、プロジェクトゼミ、ソリューションラボ、また1年次から独自に実施する学外学修等の多彩なプログラムを通じて修得します。

Q 創生学部を卒業後は、どのような進路があるのでしょうか。

A 技術革新が進む社会にあって、創生学部で学び修得した人材は、あらゆる場面で今後ますます必るリーダー、新たな価値を創造するクリエイター、複数の専門領域からアプローチできる研究者起業家など、国内外問わず活躍できる進路を想定を進めていけば、大学院進学ももちろん可能でからは、創生学部に対するさまざまな期待の声が

多様な視点での課題発見・解決スキルを要とされていくでしょう。社会を牽引するター、革新的な開発に取り組むエンジニア等として、民間企業、公務員、研究者、しています。また、4年間しっかり学修す。まだ卒業生はいませんが、企業など寄せられています。

Q 一般選抜の理系型・文系型は、それぞれ定員が別に決まっているのでしょうか。

A 理系・文系で定員を分けてはいません。合計得点等をもとに選抜しますので、得意な方の型を選択して受験してください。なお、個別学力検査の問題内容は、理系型でも文系型でも同一です。また、入試の理系型・文系型によって、入学後の学修が縛られることはありません。理系型の入試で入学し、文系の領域を専門とすることもできますし、その逆も可能です。もちろん、専門的な学修を進めるうえで、高校までの内容で不足しているものがあれば、入学後に補習やリメディアルの授業等を履修して学んで行く必要があります。必要に応じて教職員もサポートしていきます。